学校部活動から地域クラブ活動へ

～ すべての生徒の多種多様な活動機会を保障する《佐野モデルⅡ》～

令和８年10月8日　佐野市教育委員会教育総務課

学校部活動の地域展開

前号では、「なぜ部活動改革が必要か」について改めて確認しましたが、今号では、部活動改革の具体的手立てである学校部活動の地域展開について確認します。

学校部活動の地域展開とは

学校部活動の地域展開は、学校部活動を取り巻く厳しい環境を踏まえ、生徒のスポーツ・文化芸術活動を学校も含めた地域全体で支える地域クラブ活動に展開することで、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出し、より豊かで幅広い活動とするものです。

学校部活動 ← 様々な課題



教職員 ⟷ 生徒

●少子化の進展、学校規模が小さくなる
→ １校だけではチームを組めない、試合に出場できない
多様化する生徒のニーズに対応できない

●学校における働き方改革の推進
→活動を教職員だけで支える体制は維持が困難

●生徒のニーズの多様化
→学校だけでは対応が困難

地域クラブ活動 ･･･ 地域と学校との連携・協働により実施される新たな活動



地域の指導者 ⟷ 地域の生徒たち

※学校施設の活用や指導を希望する教職員の兼職兼業、活動状況の共有など、地域展開後も学校と適切に連携

〇将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保・充実

〇すべての生徒がそれぞれの希望に応じて多種多様な活動に参加できる環境を整備

〇学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させ新たな価値を創出

<新たな価値>

・学校等の垣根を越えた仲間とのつながり創出
・生徒の個性・得意分野等の尊重
・地域の様々な人との豊かな交流　など

※用語の確認「地域移行」から「地域展開」へ

当初、学校部活動の「地域移行」と呼称していた部活動改革の取組は、昨年 12 月に文部科学省から示された国の新たなガイドラインにより、名称が「地域展開」に変更されました。

これは、学校内の人的・物的資源で運営されてきた活動を広く地域に開き、地域に存在する人的・物的資源を活用しながら、地域全体で支えることによって可能となる新たな価値を創出し、より豊かで幅広い活動を可能とするという改革の理念等をより的確に表すためです。

地域クラブ活動の実施に際しても、学校施設の活用や、従事を希望する教職員の兼職兼業、学校との情報共有など、学校との連携を図る必要があり、**地域展開後も学校は地域の一部として地域クラブ活動と関わります。**

地域クラブは既存のクラブチームやスクールとは異なる活動

地域クラブ活動は、放課後や休日に教職員の指導の下で活動してきた学校部活動に替わる新たな生徒の活動の場です。

学校部活動が担ってきた教育的意義を地域で継承・発展させつつ、新たな価値を創出する活動であり、既存のクラブチームや営利を目的とする民間のスポーツ教室、書道・絵画・ピアノ教室等とは異なる活動です。

〇地域クラブと既存のクラブチームやスクールとの主な違い

観点	地域クラブ	既存のクラブチームやスクール
目的	生徒の健全な成長・人格形成・生涯スポーツの基礎づくり	成績・技能・競技力の向上が主な目的
性格	公的性質をもつ教育活動（教育的意義を継承・発展）	民間事業・サービス提供型活動
活動内容	適切な休養日・活動時間を確保し過度な練習は避ける	競技志向の活動が中心
費用負担	公的支援を受け、低廉な参加費を原則（現段階で佐野市は無償）	自主財源、参加費が高額となる場合もある
学校との連携	学校施設の活用、従事を希望する教職員の兼職兼業、学校との情報共有	学校との連携は基本的になし

今号も、部活動改革の基本的な考え方について整理しましたが、次号から本市における部活動改革の取組について順次紹介していきます。

なお、本市の部活動改革については、佐野市のホームページにも情報が掲載されています。部活動地域展開の進捗状況などの情報を随時掲載していきます。

★本事業についての問い合わせ 佐野市教育委員会教育総務課 TEL 0283(20)3106